

New NextDoc

idioma®

Reuse Translated Texts
Without TM and CMS



Document Processing
Service

NextDocは、翻訳メモリやCMSなどを使わずに過去の翻訳を既存の出版物より再利用します。作業理念は「コピー&ペースト」で、最も安全かつ簡単な方法で翻訳の再利用を行います。

新しいシステムやプログラムの導入は必要ないので、維持管理やスタッフの教育などの手間も不要です。また、翻訳メモリやCMSでは出版間際に行われた最終変更などが正しくデータベースに反映されずに、未更新の古い翻訳を再利用してしまうことがあります。NextDocは常に最新の出版物のみを利用するので、再利用元と異なる翻訳が新しい成果物に含まれてしまう可能性はありません。

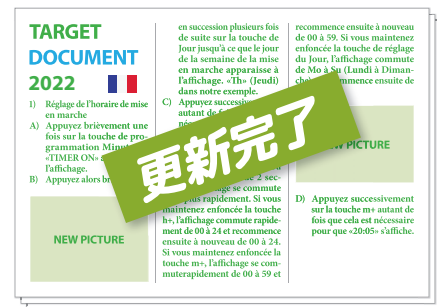
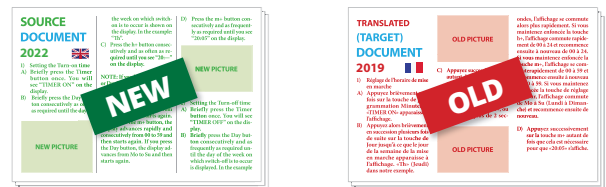
PDFでも大丈夫？

PDFをアップロードするだけで翻訳の再利用率を確認できます。

取扱説明書やパンフレットなど、新旧版のPDFでお見積りをお試ください。再利用元のPDFを変更したり増やしたり、何回でもお見積りを試し、より良い再利用元の組み合わせを選んでください。

お見積りは下記形式のファイルが対応可能です。

PDF、.mif、.idml、.docx



翻訳メモリ、CMS不要
DTP作業や確認作業も容易にします

本当にコピー&ペースト？

AI技術を活用した安全なコピー&ペーストは、旧ファイルから再利用可能な翻訳を抜き出し、新しいレイアウト書式を適用した後、新規翻訳部分とマージして納品します。

納品後にレイアウトを整えれば、第二言語の新バージョンが完成するのでプロセスが大幅に簡素化されます。

ご質問やお問い合わせは下記までお気軽にご連絡ください。

イディオマ株式会社

東京都千代田区神田錦町3-16-11 エルヴァージュ3F 電話: 03 6272 8936 / E-mail: info@idioma.jp

Reuse Translated Texts
Without TM and CMS

驚くほど簡単です!

ファイルのドラッグ&ドロップ操作だけで、どなたでも再利用元の選択からお見積り、さらには発注までを簡単に行なえます。

再利用元が決定したら各ファイルをアップロードしてください（新版のソースファイル、旧版のソースファイルおよび翻訳済のターゲットファイル）。

実際の再利用作業には下記形式のファイルが対応可能です。

.mif、.idml、.docx



Smart App

AI駆動のアルゴリズムを活用し、複数のファイルがまとめて送信されたとしても、新旧ファイルのコンテンツを見極めて同期させ、再利用率の確認を数秒で完了します。

AUTO

利点

- 新しいシステムやプログラムの導入が不要
- 翻訳データベースの管理や専属オペレーターも不要
- PDFファイルだけで再利用率の確認やお見積もりが可能
- 旧版と全く同じ翻訳を再利用するので校正作業の負担軽減
- FrameMaker、InDesign、MS Wordに対応
- レイアウト作業を簡略化

DTP

計算機

TM

自在な選択肢

貴社での翻訳をお考えの場合は、再利用元のドキュメントファイルをベースとしたTMX形式のバイリンガルファイルの作成を承ります。TradosなどのCATツールを使用した翻訳時のメモリとしてご利用になれます。

DIN EN ISO

17100:2015

(翻訳サービス)

DIN ISO

18587:2017

(ポストエディット)



(品質マネージメント)



ご質問やお問い合わせは下記までお気軽にご連絡ください。

イディオマ株式会社

東京都千代田区神田錦町3-16-11 エルヴァージュ3F 電話: 03 6272 8936 / E-mail: info@idioma.jp